



図1 計算領域と断層面位置

表2 深い地盤構造の物性値

	V_p [m/s]	V_s [m/s]	密度 ρ [g/cm ³]	Q_p, Q_s	対応する地質
1	2000	600	1.90	100	沖積低地下に分布する第四紀層（更新統～完新統）、大分層群
2	2500	1100	2.15	100	久留米層群などの鮮新統と鮮新世～更新世の火山岩類
3	3000	1400	2.25	100	野島層群などの中～上部中新統
4	3500	1700	2.30	100	相浦層群、佐世保層群などの上部漸新統～下部中新統
5,6	4000	2100	2.40	200	古第三紀（暁新世～漸新世）の石炭を挟む堆積層。上部白亜紀層の大野川層群
7	5000	2700	2.50	200	下部白亜紀層の関門層群
8	5500	3100	2.60	300	白亜紀ないしそれより古い花崗岩類、塩基性深成岩類、変成岩類、白亜紀より古い堆積岩類（付加体堆積物）

表3 地震基盤以深の地殻構造の物性値

	深さ(km)	V_p [m/s]	V_s [m/s]	密度 ρ [g/cm ³]
上部地殻	19	5900	3400	2.7
下部地殻		6600	3800	3.0
上部マントル	30	7600	4300	3.3